



<来週の資金需給予想とイベント予定>

(単位: 億円)

日付	資金需給予想			主な要因	オペ期日	オペスタート	イベント
	銀行券要因	財政等要因	資金過不足				
4/22 (月)	▲ 200	+ 1,400	+ 1,200	国庫短期証券発行償還 (3M・1Y) 各種財政資金の支払い	CP等買入 ▲ 600 社債等買入 ▲ 500 国債補充供給 + 29,600	社債等買入 + 1,000	欧: ユーロ圏消費者信頼感指数 (4月)
4/23 (火)	▲ 1,000	+ 4,000	+ 3,000				米: 新築住宅販売件数 (3月) 欧: ユーロ圏製造業・サービス業PMI (4月)
4/24 (水)	▲ 1,000	+ 8,000	+ 7,000				
4/25 (木)	▲ 3,000	+ 1,000	▲ 2,000				日: 日銀金融政策決定会合 (1日目) 日: 景気先行CI指数 (2月) 米: GDP (1Q/速報値)
4/26 (金)	▲ 2,000	+ 5,000	+ 3,000				日: 日銀金融政策決定会合 (2日目)

<インターバンク>

日銀当座預金残高は週初、国債買入オペ等により、前営業日対比9兆7,900億円増加の568兆5,600億円から始まった。その後、国債買入オペ等の要因により18日には570兆3,200億円まで上昇し、19日は、571兆0,500億円 (速報) で越過となった。無担保コールON物加重平均金利は週初、0.077%から始まった。その後も取り手の調達意欲は底堅く、同金利は横ばいで推移した。

ターム物は1W~3M物を中心に0.14%~0.24%のレンジで出が見られた。

来週の予定は、国内では、25・26日に日銀金融政策決定会合及び展望レポートの公表、海外では23日にユーロ圏製造業・サービス業PMI (4月)、25日に米GDP (1Q/速報値) の公表などがある。

[無担保コールレート]

	予想レンジ (%)
O/N	0.07 ~ 0.077
1M	0.07 ~ 0.20
2M	0.10 ~ 0.30
3M	0.10 ~ 0.30
6M	0.15 ~ 0.30

<レポ>

足許GC取引は週央まで+0.03%~+0.06%のレンジで推移。17日の取引では、0.00%~+0.02%の出会いから始まり、後場にはマイナスレートでの出会いも見られた。以降は+0.01%~+0.02%で取引が続き、3m短国の入札があった週末は+0.04%~+0.05%に上昇、大引けには0.08%近辺の取引も見られた。

SC取引は2年438~459回債、5年149~167回債、10年350~374回債、20年180~187回債、30年65~82回債、40年13~16回債などに引合いが多く見られた。

[オープン市場]

	予想レンジ (%)
現先 (on/1w)	0.030 ~ 0.050
CP 3M	0.10 ~ 0.25

<CP>

今週の入札発行総額は約8,300億円で、週間償還額の約6,100億円を上回った。鉱業、機械業などで大型案件の発行が見られた。発行残高は先週末時点の21兆9,739億円から4月18日時点で22兆4,284億円に増加した。発行レートは、銘柄や期間等によりばらつきが見られ、0.10%前半から0.20%近辺での出会いが見られた。

来週の償還額は、約16,460億円となっている。来週の発行市場は、ショートタームでは0.10%台での出会いが中心となるだろう。24日は、CP等買入れオペが4,000億円でオフアされる予定となっている。

<TDB>

18日の1Y (1226回債) の入札は、最高落札利回り0.1747% (前回債0.1231%)、平均落札利回り0.1657% (前回債0.1051%) となった。

19日の3M (1223回債) の入札は、最高落札利回り0.0148% (前回債0.0111%)、平均落札利回り0.0089% (前回債0.0040%) となった。

来週の入札の予定はなし。